

# 令和3年度 事業報告

## 1 概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大（以下「新型コロナ」という。）の2年目となり、当センターにおいては、前年度に続き大きな影響を受けた1年となりました。

特に、オミクロン株により感染急拡大した1月以降は、地区別懇談会や講習会等中止するとともに、職員の出勤体制を見直し、感染防止対策を行う中で適切な事業運営に努めたところであります。しかし、残念ながらまん延防止等重点措置が実施された期間中には、会員や会員のご家族の中にも感染者が出る状況となり、3月末時点においても松本圏域では引き続き感染警戒レベル5が続くことから、今後とも厳しい事業運営となることが考えられます。

県内の経済動向・雇用情勢は、新型コロナの影響等で、「一部に弱い動きがみられるなか、横ばい圏内の動きとなっている。」（日銀松本支店 4月）とされ、中信地区の2月有効求人倍率では1.44倍（長野労働局3月）と前年同月0.25ポイント増となっていますが、今後とも新型コロナや資源価格高騰などの影響により、シルバー事業にとって、厳しい状況が続くことが懸念されるところであります。

一方、少子高齢化・人口減少が急速に進む中、社会経済の活力を維持するためには、働く意欲のある高齢者が年齢に関わりなく活躍できる環境の整備がますます重要となっています。

シルバー人材センターでは、会員に働く機会を確保・提供し、会員の経済的な安定や生きがいの充実、健康の維持・増進を図っていますが、会員による地域の担い手や現役世代の支え手としての活躍により、センターに向けられる地域の期待も一層大きいものとなっています。

しかしその一方、会員の減少、後継者不足等から仕事の依頼に応じられないケースや、仕事はあってもマッチングに至らない状況が顕在化し、後継者育成を含め会員の確保や多様な就業機会の確保が大きな課題となっています。

こうした状況の中、令和2年度改訂した中期計画に基づき、「地域の発展をささえる力強いセンター」の実現を目指し、諸事業の推進に努めてきました。

当センターの令和3年度の実績を見ると、全国で「第2次会員100万人達

成計画」の取組みを進めている会員拡大については、病気や加齢を理由とする退会者が急増したことから、会員数は640人(対前年度比25人減、3.8%減)と、5年連続の大幅な減少となりました。

令和3年4月、改正高齢者雇用安定法が施行され、65歳までの雇用確保義務に加え、65歳から70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされるなどの社会状況の変化もあり、5年前と比べ入会平均年齢で2.8歳上昇し70.7歳に、全体の平均年齢も1.7歳上昇し74.4歳となり、会員の高齢化が退会の大きな要因となる傾向が続くことが危惧されるところであります。

契約状況については、新型コロナの影響による施設の閉鎖や厳しい経営環境による雇止め・就業時間短縮などの大きな影響を受けるなか、全体としては3億4,999万円(対前年度比594万円増、1.7%増)となり、わずかではあります前年度を上回ることができました。

また、本格実施となって7年目となる派遣事業については、着実に実績を重ね6,278万円(対前年度比466万円増、8.0%増)と大きな伸びとなりました。

安全就業については、機会あるごとに安全就業を呼びかけた結果、会員の安全意識の高揚もあり、前年度より11件少ない4件(傷害2件、賠償2件)に止めることができました。

シルバー事業の運営に大きな影響を及ぼすインボイス制度施行に向けての対応としては、地元衆議院議員や市村関係者に支援要請を行うとともに、予定通り制度が実施された場合に備え、出来る限り事業運営に支障をきたさないようにするため、万が一に備え会員へは制度内容の周知に努めるとともに、理事会にて対応方針について協議を重ねたところであります。

以下、令和3年度の個別事業実施状況については次のとおりです。

## 2 事業の実施状況

### (1) 会員の確保・拡大

- 入会説明会を原則月1回実施するとともに、本年度は年度切替えの4カ月間、月2回の実施とした。(16回開催：出席者140名、入会67名)
- 退会者は92名となり、退会理由の41%が病気であった。
- 年々高まるシルバーの高齢化対策のひとつとして、60歳代の方が入会しやすくするため、他企業での兼業ができるよう入会資格の見直しを行った。

- 会員活動として、新規会員募集のチラシを各家庭に配布した。(10月)
- 毎月市村の広報に入会説明会開催等の情報を掲載した。
- ホームページに新規求人情報を掲載した。
- 後継者不足が心配される剪定については、新規会員を募集するため、高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、剪定講習会を実施した。(13名参加)
- 最低賃金の改定を踏まえ、配分金単価の引上げを行った。

## (2) 就業機会の確保・拡大

- 塩尻市長、朝日村長及び両議会議長に対し、事業発注の拡大及び運営補助金の確保を要望した。(10月)
- 門松づくり、刃物研ぎ及びパソコン教室など独自事業への積極的な取組みにより、前年度比25%増額となった。
- シルバーの活動に理解を頂くため、「シルバーの日」を中心に清掃等の地域ボランティア活動を実施した。(10月、264名参加)
- マスコミに取材を依頼し、シルバー活動状況の積極的な情報発信に努めた。
- 高齢法第39条に基づく長野県知事への「派遣業務拡大に係る要件緩和申請」を行った。(1月)

## (3) 安全・適正就業の推進

- 機会あるごとに安全就業を呼び掛けた結果、本年度の事故件数は、前年度より11件少ない4件(傷害2件、賠償2件)となった。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、会議やイベント等の開催を中止又は縮小するとともに、職員出勤体制の調整を行った。
- 病気の重篤化を防ぐため、特定健診等の定期的な受診を呼びかけたが、病気を退会理由とした会員は退会者の41%となった。
- 会員の適正かつ公平な就業機会を提供するため、同一就業場所で5年を超える会員の交代募集を行った。
- 安全・適正就業の具体的取組みは以下のとおり
  - ・安全就業対策委員会開催1回
  - ・安全衛生委員会開催4回
  - ・安全パトロール実施5回(10箇所)
  - ・職群班班長会開催1回(参加者31名)
  - ・草刈安全講習会1回(参加者19名)
  - ・剪定技能講習会1回(参加者24名)

- ・安全運転講習会1回（参加者15名）
- ・保健師による健康講話（地区別懇談会開催時）
- ・「安全・適正就業に係る標語」の募集17点
- ・シルバーだより「あしなみ」発刊（3回）
- ・安全推進だより「かわら版安全・安心」3回
- ・安全ニュース（随時）
- ・産業医横山先生の健康便り1回
- ・安全衛生便り4回

#### (4) 事業運営基盤の強化

- 公益法人としての適正な運営に向け、定期的に理事会及び班長会等を開催した。
- インボイス制度施行に伴う特例措置を求める要請活動を後藤茂之衆議院議員（現厚生労働大臣）に行うとともに、塩尻市長、朝日村長及び両議会議長に支援要請を行った。また、予定通り制度が施行された場合に備え、出来る限り事業運営に支障をきたさないよう理事会にて対応策を協議するとともに、機会あるごとに会員への説明に努めた。
- 派遣事業会計業務の連合会への移行に向け、事務的課題等の整理を行うとともに、中シ協の各センターと対応方針等について意見交換を行った。
- 職員の資質向上に向け、中シ協各センターと共に職員研修会を開催した。
- 安定した事業運営に向け、将来予定される事業費に充てるため、余剰金を特定準備資金として積み立てることができた。
- 会員との意見交換のため、地区別懇談会を2地区で開催したが、1月のオミクロン株による感染急拡大の影響により9地区で中止し懇談会資料を全会員に送付した。（出席者22人、出席率46%）
- 新型コロナ感染拡大のため、例年実施している中シ協役員研修会や役員及び班長会の先進団体視察は中止とした。

その他詳細については、次のとおりです。